

研修名 保育実践 自然と保育研究研修

平成30年1月26日(金) 10:30~16:15

テーマ 「生き物っておもしろい」

講師 大阪市自然博物館 西澤 真樹子 氏

1 生き物の話

・刺胞動物 (クラゲ、イソギンチャク、サンゴ etc)

・環形動物 (ミミズ、ゴカイ、ヒルの仲間)

☆子どもたちが大好きなミミズ…目が無い。進む方が頭、オスメスがない。細かい毛が生えていてそれをひっかけて進む。つぶつぶのうんちをするよ。ミミズについている白い輪っかは、ミミズのたまご。

・軟体動物 (貝、イカ、タコの仲間)

☆イカもタコも、元々は貝。貝が付いていると早く進めないのだから貝をとって進化したもの。(最大6.7mのダイオウイカ) ナメクジ、カタツムリは水から陸に上がって進化したもの。身体が湿っていないと死んでしまう。

☆タコ…頭だと思われている丸いふくらみのある所は、タコのお腹。頭は足の中にあるよ。図鑑でタコが逆さ向いているのはその為。

・節足動物 (クモ、ムカデ、エビ、カニ、昆虫の仲間)

☆この種類が地球上で一番多い。「むし」と呼ばれるものは全てこの仲間。節で繋がって体ができている。

☆ダンゴ虫とワラジ虫の違い…ダンゴ虫は乾いたところが好き。ワラジ虫は湿ったところが好き。落ち葉を食べて土をきれいにする自然の中のおそうじ屋さん。

☆テントウムシ…幼虫も成虫もアブラムシを食べて生きている。倒木や石、建物の隅に隠れているよ。

☆カブトムシよりクワガタムシの方が長生きさん。カブトムシは1年、クワガタムシは2~3年生きるよ。

☆毛虫以外の幼虫は「いもむし」というよ。

・両生類 (サンショウウオ、イモリ、カエルの仲間)

☆皮膚に毛やウロコが無く、乾くと死んでしまう。人間の手で触るとかなり熱く感じている。

☆カエル…いつもおなかをヒクヒクさせている。カエル泳ぎができるのは人間とカエルだけ。

・爬虫類 (トカゲ、カメ、ヘビ、ワニの仲間)

・鳥類 (トリたち、恐竜もこの仲間)

☆自分で体温調節ができる。空を飛ぶために体をコンパクトに小さく進化した。

☆ペンギン…ペンギンは寒いので、足を折りたたんでしゃがんで歩いている。泳いでいる時はわりと足が出ている。

・哺乳類（獣の仲間、動物、人間）

☆しゃっくりが出来るのはこの仲間だけ。赤ちゃんで生まれ、母親のおっぱいで育つ。
くちびるがあることで、いろんな鳴き声が出せる（喋れる）。身体に毛が生えている。
☆大きさのバリエーションがすごい。最少3cm（コウモリ）最大34m（クジラ）まで。

・けしごむハンコ作り、ぱらぱらマンガ作り、図鑑の色塗り

自分が持ってきた絵本や、気に入った生き物を、消しゴムハンコに残した。それを暗記カードに押し、ぱらぱらマンガを作った。白黒の図鑑に色を塗って完成させた。

2 感想

私は最初に「生き物が好きな人？」と聞かれた時に「少し苦手」に手を挙げた。とにかく虫が嫌いで、見つけると悲鳴をあげるほどなのだが、保育士になって子どもと生活するようになり、子どもたちが生き物に興味津々の姿を見たり、触ってみようと勇気をだしたりしている姿をみて、私も！と少しずつ触れる生き物が増えてきているところだ。生き物があまり好きでないから、生き物に関する知識もなく、子どもたちと一緒に驚いたり疑問に思ったりしているのだが、今回西澤先生の話聞いて、生き物の不思議さってすごいなと思ったし、面白いなと思った。西澤先生が生き物を見て「かわいいかわいい」とおっしゃっていたのがとても印象的で、苦手だったカエルも間近で見ると少し可愛く思えたりした。生き物の事を、子どもたちにも伝えてあげたいなと思ったし、もっともっと生き物に興味を持って好きになるかもしれないなと思った。

また、生き物に関するおすすめ絵本もたくさん教えて頂いたので、子どもたちに読んでいきたいなと思った。

（記録 くわの実保育園 高橋春佳）